

## ニコチンアミドモノヌクレオチド(NMN)

作成日 2020年9月25日

改訂日 -

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : ニコチンアミドモノヌクレオチド(NMN)  
会社名 : 株式会社WTC  
所在地 : 〒558-0004 大阪府大阪市住吉区长居東四丁目16番8号  
担当部署 : 輸入部  
電話番号 : 06-6227-8596 (緊急連絡先含む)  
FAX番号 : 06-6227-8876  
E-mail : info@wtch25.com  
推奨用途 : 食品(食品添加物)、化粧品

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

物理・化学的危険性 : 区分外  
健康に対する有害性 : 区分外  
環境に対する有害性 : 区分外

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当なし  
注意喚起語 : 該当なし  
危険有害性情報 : 現在入手可能なデータの評価に基づき、当該物質または混合物はGHSに従う分類はできない。  
注意書き : 該当なし

健康に対する有害性に関する追加情報については、セクション11をご参照ください。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名 :  $\beta$ -ニコチンアミドモノヌクレオチド  
成分及び含有量 :  $\beta$ -ニコチンアミドモノヌクレオチド 100%  
化学式 : C<sub>11</sub>H<sub>15</sub>N<sub>2</sub>O<sub>8</sub>P  
分子量 : 334.219 g/mol  
官報公示整理番号 : 該当なし  
CAS No. : 1094-61-7  
EC No. : 214-136-5  
危険有害性成分 : 特になし

---

#### 4. 応急措置

---

- 一般情報 : 体調不良を感じた場合は、医師の診断を受ける。
- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい状態を保つこと。  
呼吸が困難な場合は、適切な訓練を受けた者が酸素を投与すること。呼吸が止まっている場合は、人工呼吸を行い、症状が続く場合やひどくなる場合は、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 嘔吐を誘発しないこと。意識のない人には絶対に口から何かを与えない。水で口をよくすすぎ、水を十分に飲ませる。症状がある場合は、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を流水で洗う。症状がひどい場合や持続する場合は、医師の処置を受ける。衣服に付着した場合、汚染された衣類を脱がせ、水ですすぎ、少なくとも15分間、すすぎを続けてください。汚染された衣類は速やかに脱着、洗濯または廃棄してください。
- 目に入った場合 : 直ちに水で15分以上注意深く洗う。症状が続く場合やひどくなる場合は、医師の手当てを受ける。

---

#### 5. 火災時の措置

---

- 消火剤 : 耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、噴霧水などで消火する。周囲の火災に適した消火剤を使用する。
- 特有の危険有害性 : 熱分解または燃焼生成物には、次の物質が含まれる場合がある。  
(炭素の酸化物、窒素の酸化物、リンの酸化物)
- 特有の消火方法 : 一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。  
危険でなければ火災区域から容器を移動する。  
火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

---

#### 6. 漏出時の措置

---

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
: 粉塵を上げたり、吸い込んだりしないようにし、十分な換気を行う。状況に応じて、NIOSHの承認を受けた自給式呼吸器または呼吸マスクを着用し、適切な保護具(ゴム製のブーツ、安全ゴーグル、厚手のゴム製手袋)を着用すること。
- 環境に対する注意事項 : 安全であっても、環境への排出を避けるようにする。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材  
: 掃き集め、回収する。現地の規制に従って、化学廃棄物容器に移して処分する。

---

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

---

- 取扱い : 粉塵の発生する場所では適切な排気を行う。
- 保管 : 涼しい場所、乾燥した換気の良い場所で容器をしっかりと閉めて保管すること。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

---

許容濃度	:	設定されていない。
設備対策	:	適切な換気を行う。製品または成分の作業時暴露限界値を遵守する。
保護具		
眼の保護具	:	より高度な保護が必要であることが評価で示されない限り、フィットする安全メガネを着用すること。目と顔を保護するための個人用保護具は、NIOSH(米国)またはEN 166(EU)に準拠すること。
手の保護具	:	保護手袋を着用すること。化学物質から手を保護するために、手袋はヨーロッパ規格 EN374 に準拠していること。
呼吸器の保護具	:	フルフェイスのフェイスマスクタイプ N99 (US) またはタイプ P2 (EN 143) を使用すること。NIOSH (US) や CEN (EU) のような規格でテストされ、承認されたフェイスマスクを使用すること。
皮膚及び身体の保護具:	:	繰り返しまたは長時間の皮膚接触を防ぐために、適切な衣服を着用すること。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

---

物理的状態、形状、色など	:	白色～薄黄色結晶粉末
臭い	:	わずかな特徴的な臭い
pH	:	3.6
融点	:	165 - 175 ° C
沸点	:	データなし
引火点	:	データなし
発火点	:	データなし
爆発範囲	:	データなし
蒸気圧	:	データなし
蒸気密度	:	データなし
密度	:	データなし
溶解度	:	水に溶ける
分配係数	:	データなし
自然発火温度	:	データなし
分解温度	:	データなし
粘度	:	データなし
爆発性	:	データなし
酸化特性	:	データなし
分子量	:	334.22

---

## 10. 安定性及び反応性

---

反応性	:	データなし
安定性	:	通常の条件において安定である。
重合反応	:	発生しない
避けるべき条件	:	データなし

混触危険物質 : 強酸化剤  
危険有害な分解生成物 : 二酸化炭素、一酸化炭素、窒素酸化物、リン酸化物

---

## 11. 有害性情報

---

急性毒性 : 情報がなため、分類できない。  
呼吸器感作性又は皮膚感作性: 分類できない  
生殖細胞変異原性 : 分類できない  
発がん性 : 本製品には、IARCによりヒト発がん性物質は0.1%以上の成分は含まれておらず、IARCによりヒト発がん性は確認されていない。  
生殖毒性 : 分類できない  
特定標的臓器・全身毒性  
一単回暴露 : 分類できない  
特定標的臓器・全身毒性  
一反復暴露 : 分類できない  
吸引力呼吸器有害性 : 分類できない

---

## 12. 環境影響情報

---

生態毒性 : 環境への放出を避けるべき、消火管理水や希釈水からの流出は、汚染の原因となることがある。  
残留性／分解性 : 知見なし  
生物蓄積性 : 知見なし  
土壌中の移動性 : 知見なし  
PBTとvPvBの評価結果 : 区分外  
その他 : 環境への投棄、放出してはならない。

---

## 13. 廃棄上の注意

---

残余廃棄物 : 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。  
汚染容器及び包装 : 容器及び包装材は、関連法規の基準に従って適切に処分する。

---

## 14. 輸送上の注意

---

国内規制  
陸上規制 : 特段の規制なし（非危険物）  
海上規制 : 特段の規制なし（非危険物）  
航空規制 : 特段の規制なし（非危険物）  
特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
国際規制

国連分類及び国連番号 : 該当なし  
運送危険クラス : 該当なし  
パッキンググループ : なし  
環境危険性 : なし

---

## 15. 適用法令

---

労働安全衛生法 : 対象外  
毒物及び劇物取締法 : 対象外  
消防法 : 対象外  
食品衛生法 : 食品(食品添加物)

---

## 16. その他の情報

---

- 1) 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)GHS 分類結果
- 2) 厚生労働省「職場の安全サイト」
- 3) 産業衛生学雑誌
- 4) 安全衛生情報センター・サイト
- 5) 食品衛生法ガイド

### 記載内容の取扱い

記載内容は現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関して、明示的、黙示的を問わず、いかなる保証をするものではありません。

また、その使用に起因する責任は一切負わないものと致します。なお、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱いいただきますようお願いいたします。